

1. IWVTAの概要と期待される効果

(IWVTA: International Whole Vehicle Type Approval)

○1958年協定に基づく自動車に係る認証の相互承認を「装置単位」から、「車両単位」へ発展する制度。



○基準調和及び認証の相互承認により、設計仕様の統一や部品の共通化を通じて、「開発・認証・生産コストが低減」。

○アジア等の新興国においても、国際的に調和のとれた車両型式認証制度の整備が促進。

IWVTAのメリット



ユーザー

■ 適正な価格でのより安全で環境にやさしい自動車の利用

自動車メーカー等事業者

- 部品共通化によるコストの削減
- 各国毎の基準に合わせた開発時間の削減
- 各国毎の認証手続きに係わる費用や時間の削減
- さらなる安全・環境技術の開発に注力

行政機関

- 基準調和により、高度な安全・環境基準が国際的に普及
- 審査作業の効率化
- 新興国等における車両型式認証制度の整備促進

2. 経緯と今後の展望

2007年11月 IWVTA創設の構想を国連の自動車基準調和世界フォーラム(WP29)の場で日本から発表。

2009年11月 国内での検討を重ね、「IWVTA創設の提案をWP29で行い、満場一致で可決」。

2010年 3月 WP29の下にIWVTAの専門家会議が設置され、EU・豪州・南ア・露等各国が参加し議論が開始。
日本と欧州委員会が共同副議長に就任し、全体の活動をリード。

2012年 3月 IWVTA創設のためのロードマップ、1958年協定改正項目、IWVTAに必要な技術規則リスト等、「IWVTAの大筋の枠組みに関してWP29の場で合意」。

2013年 3月 1958年協定におけるIWVTAの実現に必要な改正のとりまとめ。

2013年 11月 日本主導の下、IWVTAに関する規則の骨格案を了承。



2016年3月のIWVTA創設を目指して取組を進めていく